

福井県におけるウスグモスズの追加記録

保科英人^{*1}・梅村信哉²・渡部晃平³

要旨：2022年，福井市および坂井市で外来種ウスグモスズが捕れた。福井県内では，これまでに福井市海岸部での記録があるのみであった。しかし，本稿により，福井内陸部の市街地でも本種が生息していることが明らかになった。

キーワード：ウスグモスズ，直翅目，ヒバリモドキ科，昆虫綱，福井，外来種

Hideto HOSHINA^{*1}・Shinya UMEMURA²・Kohei WATANABE³. 2023. Additional record of *Amusurgus genji* (Furukawa, 1970) (Insecta: Orthoptera) in Fukui Prefecture, Honshu, Japan. *Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center)* 26:67.

Key words: *Amusurgus genji*, Orthoptera, Trigonidiidae, Insecta, Fukui, alien species

ウスグモスズ *Amusurgus genji* (Furukawa, 1970) は直翅目コオロギ亜目ヒバリモドキ科に属し，鳴かない樹上性コオロギ類の一種である。福井県内では，市川 (2017) が2016年8月に，福井市三里浜で本種の幼虫を記録している。また，石川県からの記録も2016年が初めてであり (富沢 2016)，本種が北陸地域で見つかったのは，比較的最近である。

第一著者は，2022年に本種を坂井市安島および福井市文京で採集したので，本稿にて記録する。採集データは以下の通りである。

坂井市安島，1♂2♀，20-IX-2022；同地，2♀，25-X-2022；福井市文京福井大学文京キャンパス，1♂1♀，20-IX-2022。

坂井市安島は，市川 (2017) が記録した福井市三里浜と同じく，嶺北海岸部周辺にある。安島においては，本種は住宅地近くの藪で見つかった。一方，福井大学文京キャンパスは，福井市の内陸部の市街地に位置し，やはり敷地内の藪で採集された。本稿の記録により，福井県における本種の分布は海岸部にとどまらないことが明らかになった。

ウスグモスズは外来種であると推測されている (日本直翅類学会編 2006，日本直翅学会監修 2011，町田監修 2016)。川上 (2012) によると，日本におけるウスグモスズの最初の記録は1966年であるが，

戦前の東京で採集された標本が存在すると言う。本稿では，同種を外来種として扱うこととしたい。

なお，外来種ウスグモスズがカナタタキなどの同じ樹上性直翅類と競合するのかどうかは不明である。本県におけるウスグモスズの今後の分布拡大に注視したい。

引用文献

- 市川 顕彦. 2017. 福井県の直翅類の記録. ばったりぎす, (159): 14-17.
- 川上 靖. 2012. 外来種ウスグモスズ (コオロギ亜目ヒバリモドキ科) の鳥取県における記録と分布拡大. 山陰史研究, (8): 33-34.
- 町田龍一郎監修. 日本直翅類学会編. 2016. 日本産直翅類標準図鑑. 学研プラス, 東京. pp. 384.
- 日本直翅類学会編. 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会, 札幌. pp. 687.
- 日本直翅類学会監修. 村井貴史・伊藤ふくお著. 2011. バッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑. 北海道大学出版会, 札幌. pp. 449.
- 富沢 章. 2016. 石川県におけるバッタ目4種の記録. とっくりばち, (84): 11-12.

* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: hhoshina@f-edu.u-fukui.ac.jp

1 福井大学教育学部 〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1

Faculty of Education, University of Fukui, Fukui City 910-8507 Japan

2 福井市自然史博物館 〒918-8006 福井県福井市足羽上町 147

Fukui City Museum of Natural History, Asuwakami-cho 147, Fukui, Fukui 918-8006 Japan.

3 石川県ふれあい昆虫館 〒920-2113 石川県白山市八幡町戊3番地

Ishikawa Insect Museum, Inu-3, Yawata, Ishikawa 920-2113 Japan